

## 解体等工事に係る事前調査書面

【発注者】 住所（法人にあっては、主たる  
 兵庫県西宮市〇〇町〇  
 氏名（法人にあっては名称及び  
 ××不動産株式会社 代表取締役社長 〇〇 一郎 様

説明書面の有効性を担保するために  
 社印又は代表者印の押印することを推奨します

【元請業者】 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）  
 兵庫県西宮市□△町〇丁目△番□号  
 氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）  
 ××建設工業株式会社 印  
 代表取締役 △△ 太郎

大気汚染防止法第18条の15第1項に基づき、解体等工事に係る石綿使用の有無に関する事前調査結果について下記のとおり説明します。

該当する項目に●を付ける

解体等工事の名称	●●第一ビル解体工事に伴うアスベスト除去工事										
解体等工事の場所	西宮市 △□町●丁目●●番□号										
解体等作業の種類	●	解体		改造		補修	改修履歴の有無	有			
解体等工事の実施期間	20**年	●	月	●	日	～	20**年	▼	月	▼	日
建築物等の概要	建築年数	昭和	*+	年	延床面積	1,582.68	m <sup>2</sup>				
	木造		S造	●	SRC造		RC造	その他工作物			
	CB造		その他	階層	地上	5階	地下	1階	PH	1階	
	●	耐火		準耐火		その他	( )				
事前調査を行った者及び当該者が登録規定に基づく講習を受講した講習実施機関の名称等	氏名	●	×	次郎	所属	▼△分析センター（株）分析部					
	講習実施機関の名称	(一社) ●×試験センター			登録番号	H*****28					
	資格区分	●	特定		一般		一戸建て等				
調査を終了した年月日	20**年	◎	月	◇	日						
調査の方法	●	目視	●	設計図書等	●	分析	その他 ( )				
調査結果	特定建築材料の有無	●	有		無	●	みなし	※特定建築材料の数量等は別紙1のとおり			
	破壊調査ができない場所であって、解体等が始まる前に確認できなかった場所	・3階会議室（天井裏、室内） ・PH階エレベータ機械室 ・B1階電気室									
建築物等の階、及び部位ごとの特定建築材料の使用の有無	調査漏れを防止するため、調査できなかった箇所を明記する 未調査箇所が多く欄内に記載しきれない場合は別紙に整理することも良										
届出の要否	●	大気汚染防止法第18の17第1項（第2項）に基づく届出 （届出名称：特定粉じん排出等作業実施届出書） ● 兵庫県環境の保全と創造に関する条例第57条に基づく届出									
事前調査の結果、特定工事に該当する場合は必要となる届出に●を付ける											
事前調査結果の揭示	掲示	20**年	×	月	◆	日	取置場所	別紙のとおり			

備考 1. 特定建築材料があり、特定粉じん排出等作業に該当する場合は、別紙1を添付すること  
 2. 工事中に特定建築材料を見つけた場合は、再度説明をすること

元請業者からこの書面の説明を受けました。

20\*\*年\*月\*日

発注者氏名（法人にあっては名称及びその代表者氏名）

××不動産株式会社 代表取締役社長 〇〇 一郎 印

発注者 書面説明後は、「双方で押印する」か押印しない場合は「自筆で署名」してください

20\*\*年\*月\*日

氏名（法人にあっては名称及びその代表者氏名）

××建設工業株式会社 代表取締役 △△ 太郎 印

特定粉じん排出（石綿除去）等作業の概要

特定粉じん排出等作業の種類	大気汚染防止法施行規則別表第7												
	<input type="radio"/>	(1) 建築物の解体工事のうち、吹付け石綿及び石綿含有断熱材等を除去する作業（(2)及び(5)を除く）											
	<input type="radio"/>	(2) 建築物の解体作業のうち、石綿含有断熱材等を除去する作業（かき落とし、切断、又は破碎以外の方法で特定建築材料を除去するもの）（(5)を除く）											
	<input type="radio"/>	(3) 建築物等の解体作業のうち、石綿含有仕上塗材を除去する作業（(5)を除く）											
	<input type="radio"/>	(4) 建築物等の解体作業のうち、石綿含有成形板・下地調整材等を除去する作業（(1)～(3)、(5)を除く）											
	<input type="radio"/>	(5) 特定建築材料の事前除去が著しく困難な解体作業											
	<input type="radio"/>	(6) 建築物の改造・補修工事のうち、吹付け石綿及び石綿含有断熱材等の除去等に係る作業											
	↑該当するものに○												
特定粉じん排出等作業の実施の期間	20**	年	<input checked="" type="radio"/>	月	×	日	～	20*+	年	△	月	◆	日
特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の部分における特定建築材料等の種類並びにその使用箇所及び使用面積	特定建築材料等の種類			使用箇所				使用面積					
	1	吹付け石綿		鉄骨梁・デッキ				500	㎡				
	2	石綿含有保温材		ボイラー配管				30	㎡				
	3	石綿含有断熱材		煙突				60	㎡				
	4	石綿含有耐火被覆板		柱				20	㎡				
	5	石綿含有仕上塗材		外壁				1,000	㎡				
	6	石綿含有下地調整材		外壁・室内内壁				1,500	㎡				
	7	石綿含有成形板等		天井、床、内壁				850	㎡				
	※詳細は、別紙2のとおり												
特定粉じん排出等作業の方法	<input type="radio"/>	除去	<input type="radio"/>	囲い込み	<input type="radio"/>	封じ込め	<input type="radio"/>	その他					
特定粉じん排出等作業の方法が法第18条の19各号に掲げる措置を当該各号に定める方法により行うものでないときは、その理由													
特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の配置図及び付近の状況	別紙のとおり			対象となる建築物等の配置図や付近の状況、特定粉じん排出等作業に関する作業工程、作業方法などが分かるものを説明書類に添付する									
特定粉じん排出等作業の工程を明示した特定工事の工程の概要	別紙のとおり							石綿濃度測定実施の有無	有				
掲示物の設置予定年月日及び設置場所	20**	年	<input checked="" type="radio"/>	月	□	日	設置場所	別紙のとおり					
特定工事の元請業者の現場責任者の氏名及び連絡場所	××建設工業株式会社												
	工事部			△□	三郎		電話番号： ×××-××××-×××						
下請負人が特定粉じん排出等作業を実施する場合の当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡場所	株式会社□△工業												
	工事部			□○	四郎		電話番号： ×××-××××-××□						

備考 1. 解体等工事が特定粉じん排出等作業に該当する場合に作成すること  
 2. 特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の対象となる建築物等の配置図、付近の状況、特定粉じん排出等作業の工程を明示した特定工事の工程の概要については、計画している作業方法等が分かるものを添付すること

別紙2 事前調査結果の詳細

複数の建物構造で構成された建築物の場合は該当する構造を併記

【例】鉄筋コンクリート造+鉄骨造

改修履歴がある場合、改修時期も記入(分かる範囲で)

建物名称	●●第一ビル		三月	確認申請	19-*年○月	昭和	+*年						
建物概要	建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	耐火構造	耐火建築物	(左:西暦)	竣工時期	19-*年△月	昭和	+*年				
	建物用途	事務所		延床面積	1,582.68 m <sup>2</sup>	改修等履歴有無	用途変更改修	20++年□月	平成	-年			
	階層	地上	5階	地下	1階	PH	1階	設計図書等の有無	あり	あり	耐震補強工事	20+年×月	平成
発注者	××不動産株式会社	設計図書等の有無も記入	元請業者	××建設工業株式会社		調査終了年月日	20**年×月□日						
調査実施者	氏名	●× 次郎	所属(会社名)	▼△分析センター(株)	資格種類	特定建築物石綿含有建材調査者		登録番号	*****28				

階	※1	※2	※3	※4	※5	※6	※7	※8	※9	※10	※11	※12	※13	※14	※15	
階	部屋名	部位	設計図書・竣工図の建材名	建材確認済み	現場調査による実際の建材名	層の有無	使用面積(m <sup>2</sup> )	石綿区分建材名	レベル区分	判定方法	試料NO.	判定結果	劣化有無	備考		
B1	機械室	天井内壁	記載なし	✓	吹付ロックウール	無	250	吹付材	1	採取	1	含有	やや劣化	Chr含有劣化により落下した吹付材あり		
		配管	図書記載の材料について可能な限り詳細に記入する ※建材名等の記載がない場合は、「記載なし」と記入 推測で記入したり曖昧にしないこと	✓	現場調査で確認した建材は可能な限り詳細に記入する	無	30	保温材	2	採取	2	含有	劣化なし	現地調査によって確認した現場状況や分析結果に関する考察等を記入		
		配管		✓		無	不明	成形板等	3	みなし	-	含有	-			
B1~PH	機械室・屋上	煙突		✓	カポスタック	無	60	断熱材	2	採取	?	含有	劣化	Amo含有上検口内に多数脱落した断熱材あり		
1	玄関・ピロティ	天井		✓	RW吸音板+プラスターボード	有	15	成形板等	3	みなし	-	含有	-	音板とPBの重ね貼り面不燃番号等の印字なし		
2	会議室A 応接室B	天井	プラスターボード t=9mm	✓	プラスターボード	無	-	成形板等	-	目視	-	不含有	-	裏面確認・不燃番号第2015号		
					改修履歴があり設計図書等の部屋名と実際が異なる場合は訂正線を付け実際の部屋名を記入			有	-	成形板等	-	採取	4	不検出	-	接着剤も不検出
		壁	プラスターボード t=12.5mm	✓	プラスターボード+壁クロス	有	-	成形板等	-	採取	5	不検出	-	壁クロスも不検出		
2	事務所A	天井裏鉄骨	記載なし	未										調査できなかった箇所は、調査漏れを防止するため必ず記録に残す	使用中につき調査できず	